

川根地区中高連携だより

川根地区連携型中高一貫教育協議会

■ 会長あいさつ

関係の皆さま方には、日ごろから川根地区の中学校、高等学校の教育活動に対して深い御理解と温かな御支援、御協力をいただき心より感謝申し上げます。

川根地区連携型中高一貫教育は、平成 14 年度にスタートして今日に至るまで、「一人一人の個性を重んじ、生きる力を育む教育を目指すとともに、21 世紀の川根地区を担う有為な人材の育成に努める」という基本理念を掲げ、様々な教育活動に取り組み、幾多の成果を積み上げてまいりました。今年度も「交流授業」「授業公開」「川根の郷の夢を語る会」「生徒交流」の四つの委員会を立ち上げ、積極的かつ組織的に活動を行うとともに、生徒たちも、中高の縦、中学同士の横と連携を深めていきます。

さて「木の長さを求むる者は、必ず根本を固くす」という中国の古いことわざがあります。現在川根地区も人口減少や少子高齢化等の課題を抱えるなど、中高連携教育を取り巻く環境も、これまで以上に厳しい局面を迎えています。しかし、だからこそ、先のことわざではありませんが、あらためて連携発足時の願いと理念を思い起こし、その根本に立ち返って、なすべき行動を見究めなければいけません。そして川根地区の 10 年先、20 年先のよりよい教育のために必要なことを確かに実践していくことが、肝要と考えますので、今年度も御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(川根高校 校長 須藤 隆広)

■ 29 年度の主な事業予定

4 月	交流授業開始 春季合同研修会(教職員の研修)
5 月	連携中でのあいさつ運動
6 月	川根高校南麓祭への中学生の参加 連携中学校での部活動激励会
7 月	川根講演会、中学生の川根高校一日体験入学
9 月	連携中学校体育祭への高校生の参加
10 月	連携中学校文化発表会への高校生の参加
11 月	秋季合同研修会(教職員の研修)
2 月	川根の郷の夢を語る会(中高生の交流会)

今年度は、生徒・教員の交流の更なる充実を図り、連携型中高一貫事業の一層の進化及び深化をさせるため、部活動検討委員会を生徒交流委員会に移行するなど、一部の組織を改編しました。

昨年まで、その位置付けにあいまいさが残った「あいさつ運動」や「部活動激励会・壮行会」を中高一貫教育の事業として扱うなど、各活動を整理し、多様な交流活動を通じて生徒の交流を推進します。

■ 春季合同研修会 4 月 27 日(木)

中高合同研修会は、春と秋の年 2 回、連携 3 中学校と高校の教職員が一堂に会する研修です。今回の春季合同研修会では、中高の職員に加え、県・島田市・川根本町の教育委員会を招いて行われました。全体会では川根地区連携型中高一貫教育の説明の後、川根中学が「川根中学校の学力向上への取り組み」を、川根高校が「川根高校の学力における現状と課題」を発表しました。また、昨年度の 2 月に名古屋で行われた「全国中高一貫教育研究大会」の報告もあり、その後の分散会では、昨年度の交流事業の成果と課題について、7 つのグループに分かれて話し合いました。また、養護教諭間、事務間での情報交換も行われました。どのグループも活発な意見交換があり、今後に向けて大きな収穫となりました。



■ 交流授業（年間通して）

川根高校の教員が連携中学校へ、連携中学校の教員が高校へ出向き、TT（ティームティーチング）の授業を行っています。今年度は、本川根中学校で保健体育、英語、中川根中学校で国語、数学、保健体育、英語、川根中学校で保健体育、川根高校では、数学、保健体育、英語の授業で実施しています。

本川根中学校の大中教諭は、川根高校で英語の授業を行っています。「川根高校生は、どの生徒も明るい挨拶をしてくれて、とても爽やかな気持ちになります。授業では落ち着いてまじめに学習に取り組む姿がたいへんすばらしいです。そのような生徒の姿は、他に誇れるものだと思います。高校の授業に入ってみて、中学校での学習について、高校でどのように発展していくのか、また、定着しにくい部分はどこかなど理解することができました。交流授業の時間が楽しみです。」と交流授業の良さを語っています。

また、中川根中学校で国語を担当している川根高校の飯塚悠太教諭は「複数の教員が連携して授業をすることで、丁寧な指導を行うことができている。生徒にとっては、安心して学びを深められる時間になっていると思う。」と話しています。



■ 南麓祭(文化の部) 6月3日(土) 校内発表の日



南麓祭では、川根地区の3校で演奏させていただきました。昨年よりも、練習の機会は少なくなりましたが、普段の人数をはるかに超える大人数での演奏は、貴重な体験となりました。川根高校の先輩方から、演奏に関するアドバイスや練習方法など、これからの部活動で活かせる事も聞くことができました。

また、曲も大人数だからこそできる曲でダイナミックな演奏となり、川根高校、川根中学、中川根中学の3校での良さが重なり合って、素敵なステージを創ることができました。来年は、川高生として南麓祭のステージに立ちたいと思います。（川根本町立中川根中学校 音楽部部长 細田佳代子）

南麓祭では、川根地区の中高生の皆さんと一緒に演奏させていただきました。普段は少人数で演奏をしているので、三校合同の演奏で大人数だからこそできる曲にたくさんチャレンジすることができ、とても貴重な体験となりました。

私は、ユーフォニアムを担当していますが、普段は一人で演奏しているので、隣に高校生の演奏者がいてくれてとても心強かったです。練習時間は短かったですが、本番では息の合った演奏ができてよかったです。高校生の迫力のある演奏も聴けて、今後私たちも見習っていききたいと思います。このような機会を作ってください、本当にありがとうございました。（川根中学校3年 荒波恵叶）



■ 5月24日(水) あいさつ運動

高校生が本川根・中川根・川根中学校へ行き一緒に挨拶運動を行いました。中学生は照れながらも高校生の挨拶に答えている姿が何とも初々しく、また、楽しそうに高校生と話している姿が見られました。これからも中学生とのつながりを大切にし、笑顔で溢れる川根地区を目指していきます。

川根地区連携型中高一貫教育協議会

連携校(静岡県立川根高等学校、川根本町立本川根中学校、川根本町立中川根中学校、島田市立川根中学校)
事務局：川根高校 TEL57-2221 E-mail : kawane-h@edu.pref.shizuoka.jp 御意見をお待ちしております。